

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・算数）

加須市立大桑小学校

1 本校の概要

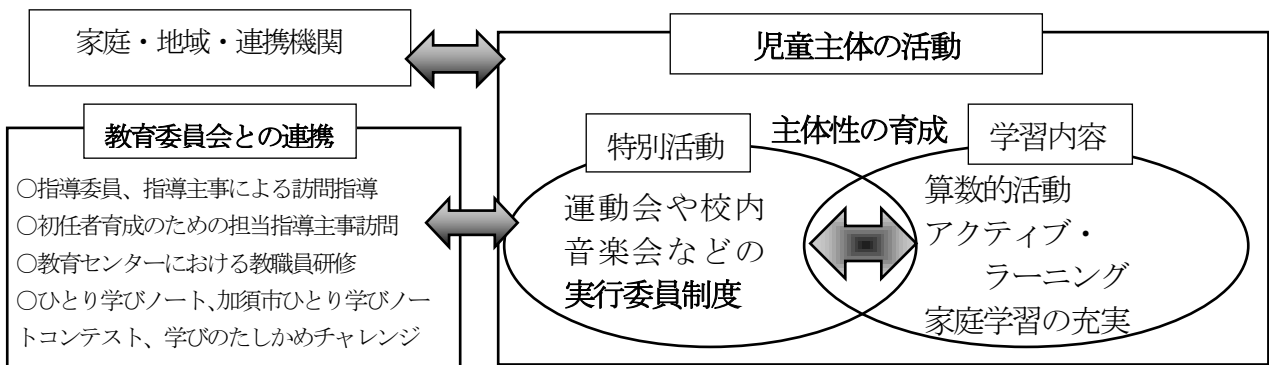
(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた領域				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
5	○	○	○			○		ノート指導(ひとり学びノート)

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果の要因、背景

伸びた要因として三つが考えられる。「**児童主体の活動**」「**授業改善**」「**教育委員会との連携**」である。



2 具体的な取組

(1) 本校独自の取組

算数の学習では、算数的活動に重点を置き、「**操作活動**」と「**話し合い活動**」を年間を通して充実させた。

正答率が高かった領域は「量と測定」と「数量関係」であったが、以下、伸びた割合が高かった「図形」について述べる。

・操作活動の具体例【直方体と立方体 展開図を使った活動】→

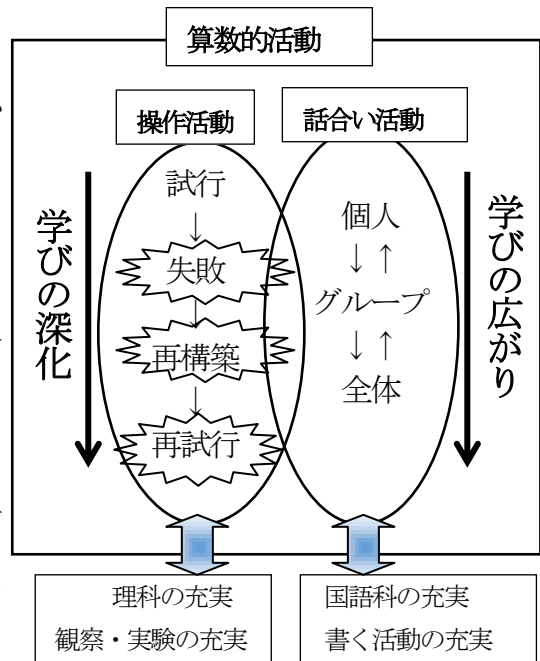
展開図を考えさせ、失敗したときには、何がいけなかったのかを考え、もう一度展開図を考えさせることで成功体験に変え、自分の考えに自信をもたせた。

・話し合い活動の具体例【面積 複合図形を使った活動】→

話し合い活動では、「自分の言葉で相手に分かるように伝える」ということを意識させ、自分の言葉で考えさせた。図を用いながら、自分の考えた面積を求める方法を2人組で伝え合う活動を取り入れた。更に、教わったものを他の児童に説明する場を設け、アウトプットの場を増やした。

(2) 教育委員会との連携による取組

「ひとり学びノート」や「加須市ひとり学びノートコンテスト」を活用し、基礎学力の確実な定着を図っている。また、初任者育成のための担当指導主事訪問や、指導委員及び指導主事訪問による授業研究会、教育委員会主催の研修会等で、教職員の指導力向上にも努めている。



3 成果と課題

◎ アクティブ・ラーニングを取り入れたことによって、学習に対しての有用性や意義などの意識が高くなった。

◎ 操作活動を多く取り入れたことで、具体的なイメージをもつことができ、苦手意識のある児童も楽しく学習に取り組むことができた。

△ 話を聞いて発表することを苦手とする児童がいるので、少人数での発表の場を増やし、思考力・表現力を育てていきたい。